



株式会社 常磐

2019 年度（第30期）環境経営レポート

（対象期間 2019 年3月1日～ 2020 年2月28日）



作成日： 2020年6月9日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要	5
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11



□ ごあいさつ

株式会社常磐は1970年4月の創業以来、建築工事一筋で50年以上にわたって実績を積み皆様に夢を実現に変える会社として支えられていただいたことで信頼と実績を継続してまいりました。皆様に喜ばれる会社として養ってきたノウハウと、市況や技術革新などの時代の流れを的確に把握し、新たなビジネスやこだわりへの御提案で、常にお客様の側に立ち様々なニーズにお応えできる営業を実践しております。当社の実績と豊富な経験を活かし新築・増築・改築でのトータルなサービスを御提供します。

□ 企業理念

みんなで面白い社会生活を過ごすために

- 1、私たちは 技術力と情熱をもって社会の発展に貢献します。
- 2、私たちは 強靱で豊かな経営体質を持った会社を作ります。
- 3、私たちは お客様と地域社会から信頼される会社になります。
- 4、私たちは 感情豊かな人材育成と確かな専門知識の修得に努める会社になります。

□ 行動指針

私たちは知識と技術を向上し、顧客に求められる強靱な企業になります。

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、「あてにし、あてにされる関係」の企業風土を基に行動し、本業である建築を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で快適にご利用いただける建築物を、無駄のない工期・効率的な工法・高い技術力をもってお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 協力業者との協働により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3． 廃棄物の発生抑制につとめ、建築資材リサイクルの向上に努めます。
- 4． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5． 接着剤や塗装材など現場での適正管理に努めます。
- 6． 工程管理を適正に行い、ミスやロスの少ない施工を行います。
- 7． あてにし、あてにされる信頼関係を創っていきます。
- 8． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日： 2017年9月30日

改定日： 2020年6月9日

代表取締役社長 **松本 清治**

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 常磐
代表取締役社長 松本 清治
- (2) 所在地
本 社 大阪府大東市新田西町6-52
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役 松本 清治 TEL：090-2045-8585
担当者 営業部 中島 毅 TEL：080-6172-6874
- (4) 事業内容
工場・倉庫・事務所ビルの新築・改築の設計・施工及び大型商業施設のメンテナンスと修理
建設業許可：大阪府知事 許可（般-29）第101939号 建築工事業・大工工事業・屋根工事業
内装仕上工事業・鋼構造物工事業・タイルれんがブロック工事業
産業廃棄物収集運搬業許可：大阪府 02700210333号 兵庫県 02803210333号
古物商許可：622280195733
- (5) 事業の規模
売上高 21788 万円
- | | | | |
|------|----------------|-----|----------------|
| | | 本 | 社 |
| 従業員 | 名 | 9 | 名 |
| 敷地面積 | m ² | 270 | m ² |
- (6) 事業年度 3月1日～2月28日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 常磐
対象事業所：本 社

対象外：なし

活動：工場・倉庫・事務所ビルの新築・改築の設計・施工及び大型商業施設のメンテナンスと修理

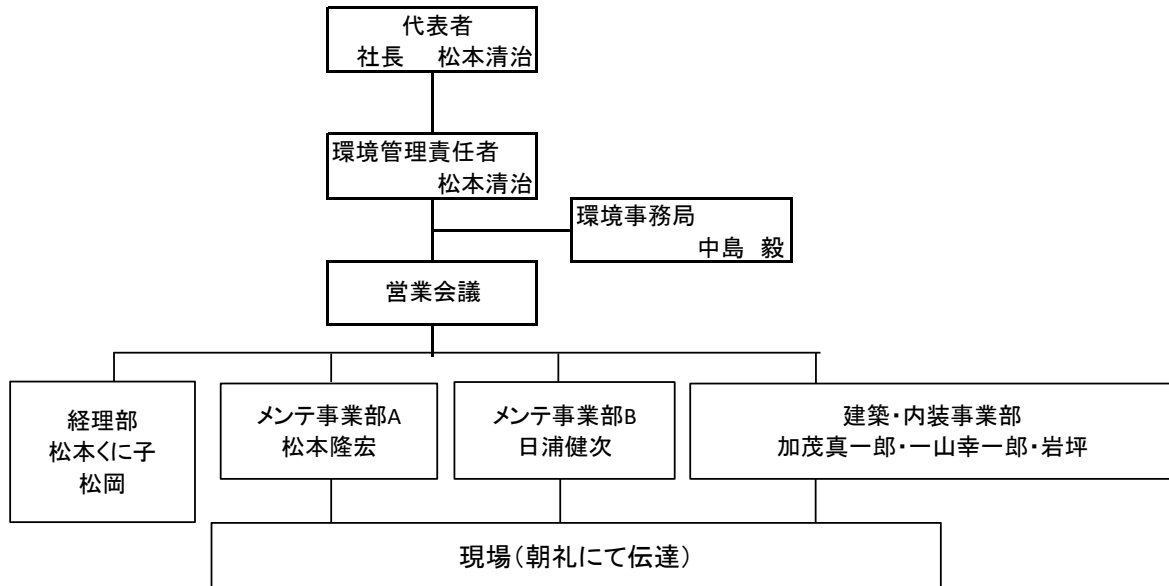
□事業の紹介

○オフィスビルやテナントビルのリノベーションをはじめ、消防設備、給排水設備、新築、増改築などの建築工事一式



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2017年10月10日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、営業会議の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 環境経営方針の周知 従業員に対する教育訓練の実施 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 手順書の作成及び手順書による実施 想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 問題点の発見、是正、予防処置の実施
営業会議 (毎月20日頃)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価 現場では朝礼で伝達する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	16,240	17,480	23,777
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	240	240	240
産業廃棄物排出量	t	5	22	1,077
水使用量	m ³	49	49	44

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

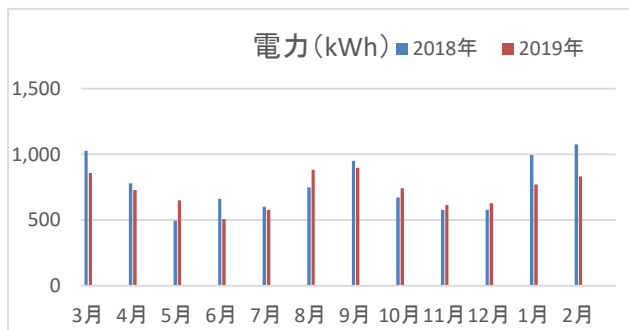
項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年 (目標)	2021年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,492	4,402	4,312	○	4,358	4,313
	基準年度比	2018年	98%	96%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	12,988	12,858	19,465	×	12,728	12,598
	基準年度比	2018年	99%	150%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	17,480	17,260	23,777		17,085	16,911
一般廃棄物の削減	kg	240	240	240	×	240	240
	基準年度比	2018年	100%	100%		100%	100%
産業廃棄物(混合)の削減(再資源化率向上)	%	—	50%	55%	○	50%	50%
水道水の削減	m ³	49	49	44	○	49	49
	基準年度比	2018年	100%	90%		100%	100%
グリーン購入の推進 (オフィス用品G購入率)	行動目標(次項による)						
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	電気使用量は昨年より約4%削減できた。 事務所外での活動が増えた結果と考えられる。
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房22℃)(事務所)	○	
・不要照明の消灯(事務所)	○	
・施工管理業務の効率化 技能向上 段取り徹底(現場)	○	
・現場での施工中の節電(現場)	○	

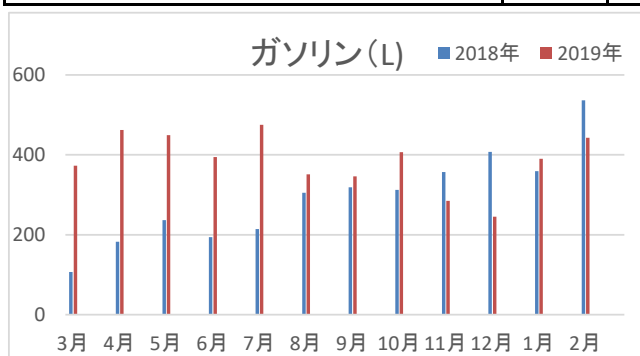


次年度の取組内容

熱中症予防も考慮した適切なエアコンの利用とともに、必要以上に設定温度を上げ下げしない。

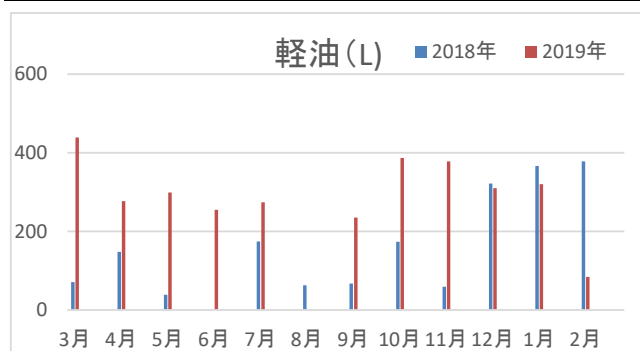
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	1,028	780	495	660	602	749	950	671	577	577	994	1,076
2019年	859	730	651	508	577	882	898	742	616	628	771	831

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	事務所の滞在時間が減った反動か、車での移動が増えているようだ。
・漏れの無い記録	○	
・アイドリングストップ（現場）	○	
・営業ルート効率化	○	



次年度の取組内容
 有効的な直行直帰も検討し、移動を徐々に削減していく。

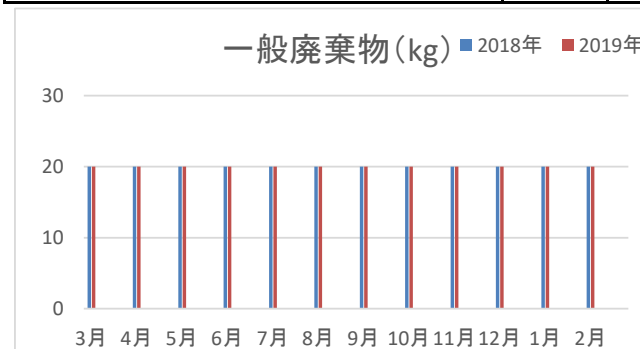
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	107	182	237	194	214	305	318	312	357	407	359	536
2019年	373	462	449	395	475	351	346	407	285	245	390	443



次年度の取組内容
 トラックの使用頻度を抑えられるよう、検討していく。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	71	148	38	0	174	63	67	174	59	321	366	378
2019年	439	277	299	255	274	0	235	387	378	310	320	84

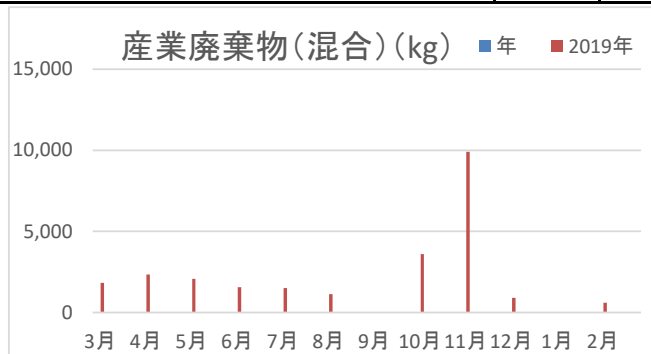
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	ペーパーレス化と再利用化がルール化されていないので、各自の意識が低いと思われる。まずは事務局でルールを策定する。
・分別の徹底	△	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・帳票見直しによる印刷物の削減（事務所）	×	
・梱包材の再利用	×	



次年度の取組内容
 帳票の見直しを行い、ペーパーレスに努める。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2019年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

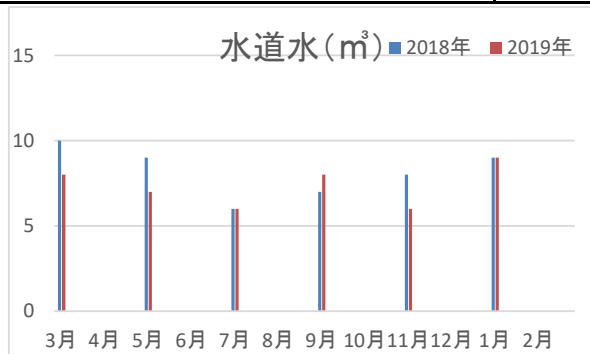
産業廃棄物(混合)の削減(再資源化率向上)		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		○	請負業務内容に廃棄物の大量発生となる原状回復が多くなり、産業廃棄物全体の量が増えた。再資源化率は目標達成できた。
・作業ミスによる廃棄量の削減(現場)		○	
・現場での分別徹底(現場)		△	
・持ち帰り廃棄物はマニフェスト管理(現場)		○	



次年度の取組内容
法に則った処理を続けていく。
再利用できるものは無いか考える。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019年	1,820	2,340	2,080	1,560	1,500	1,140	0	3,600	9,900	900	0	600

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価
数値目標		○	水道水の使用料は大きな変動はなく、常に節水に注意しながら現状
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・ストップノズルの使用の徹底(現場)		○	



次年度の取組内容
ストップノズルの徹底(現場)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2018年	10	0	9	0	6	0	7	0	8	0	9	0
2019年	8	0	7	0	6	0	8	0	6	0	9	0

化学物質管理	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	事務所内ではほとんど出入りが無い為、今後も安全に注意していく。
・少量シンナーの漏洩蒸発防止（事務所）	○	
・塗装防水工事のリスク管理（現場）	○	

次年度の取組内容

保管状態を定期的にチェックする。

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	—	グリーン購入対象品を理解し、みんなの目につきやすいようにし、意識を高める
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	
	○	

次年度の取組内容

あらゆる物品等の購入時に必ず検討し、意識を高める。

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価
・工期厳守、短縮化（現場）	○	環境にやさしい商品や工法を学び、共有していく。
・作業ミスの防止（現場）	○	
・顧客クレーム削減（振動、騒音、悪臭）	○	
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	

次年度の取組内容

新しい工法や材料を検討する。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（建設副産物、廃プラ、廃蛍光灯等）
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2019/8/19	■実施場所 本社
■参加者： 社長、専務、加茂、日浦、松本、中島、一山、松岡	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 手順ばかりを気にしてしまい、時間がかかった。 大事なことは何か、共有する必要がある。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年6月9日

【総括(評価と今後の環境経営について)】

みんなで話し合いながら現状の問題点を挙げ、改良していきたい。

- | | | |
|-----------|--|---|
| 環境経営方針 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 一部変更 |
| 環境経営目標・計画 | <input type="checkbox"/> 変更なし | <input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 経営指針を反映させる |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |